

北秋田地域シルバー人材センター作業別安全就業基準

【除草作業】

作業名	安全作業のポイント
作業全般	1. 服装・履物は、作業に合ったものを着用すること。 作業服は、長袖・長ズボンを着用し、虫のはいらぬよう袖口のしまったものを選ぶこと。 作業靴は底の厚いもので滑りにくいものを使用すること。 2. 作業帽もしくは安全帽は必ず着用すること。 3. 手袋（軍手等）を必ず着用すること。 4. 斜面での作業や雨天は、滑りやすいので十分注意すること。
炎天下での作業	1. 日よけ帽を必ず着用すること。 2. こまめに水分と塩分を補給すること。
草取り	1. ガラスの破片、釘等に注意すること。 2. 蜂の巣や害虫等に注意すること。 3. 作業場所によっては保護メガネを着用すること。 4. 鎌を使つての作業では、安全第一を心掛けること。 （ア）腰を落とし、正しい姿勢で使用するこゝと。 （イ）共同で作業を行う場合は、作業空間を十分とり刃先に注意すること。 （ウ）使用休止中の鎌は、立て掛けたり刃先を上向きにせず、邪魔にならない所でかつ目立つ所に刃を下向きにして置くこと。
刈払機使用	1. 使用前に必ず点検すること。 （ア）ネジのゆるみはないか。 （イ）刃は作業に適しているか （ウ）刃先にひび割れ、めくれ、まがり等の異常がないか 点検し、異常がある場合は、使用しないこと。 2. 安全ガードは必ず取り付けること。 3. 安全帽・保護メガネを着用すること。 4. 作業前に周囲の障害物を周知・除去しておくこと。特に小

	石には十分注意すること。 必要に応じて危険個所に目印（テープや棒など）を付けること。 5. 刈刃に詰まった草や異物を取り除く際は、必ず機器を止めてから行うこと。 6. 作業中は、半径 15m 以内に他の人を近づけないこと。 7. 近くに駐車車両等がある場合は遠くに移動してもらうこと。 8. 飛び石の危険がある場合や、人や車が通る場所で作業をおこなうときは、飛散防止ネットを用いること。 9. 雨天時の作業は、滑りやすいので避けること。 10. 燃料の取扱いについて。 （ア）携行缶を使用すること。 （イ）燃料は気化しやすいため携行缶は密閉し、現地では高温になる車内ではなく、直射日光の当たらない風通しの良い場所に置くこと。 11. 運搬及び格納時には、回転刃には保護カバーをつけること。
--	---